

## 社会保障制度を踏まえて生涯にわたる生活資源マネジメントについて考えてみよう —「人生すごろく」から始まる生活設計の授業—

(総授業時数：8時間)

### 実施学年、教科等

第1学年～第3学年 家庭科「家庭総合」(「家庭基礎」「生活デザイン」においても可)

### 単元の目標

- (1) ライフコースの選択において、希望するライフコースを考えることができるようにする。
- (2) 各ライフステージの特徴や、遭遇する可能性のあるリスクとその対策の重要性を理解することができるようにする。
- (3) リスクごとに様々な保障があることを理解し、私的な備えだけでなく、社会的な生活保障資源の重要性を認識することができるようにする。
- (4) 希望するライフコースを実現するためには、経済資源など現実的な資源について考慮する必要があることを理解することができるようにする。

### 学習の評価

- (1) 高校卒業後の人生をイメージし、希望するライフコースについて、金銭面も含めて考えている。  
(「人生すごろく」、家計シミュレーション結果)
- (2) 各ライフステージにおいて遭遇する可能性のあるリスクを認識し、その対策として金銭面・非金銭面の様々な生活資源があることを理解している。  
(コメント用紙、ワークシート)
- (3) 様々な保障の特徴を理解し、貯蓄・保険等の私的な保障のほかに、社会保障制度が人の一生において重要な役割を果たしていることを認識している。  
(ワークシート)
- (4) ライフコースを考える上で金銭資源について考慮する必要があることを理解している。  
(「人生すごろく」、家計シミュレーション結果)

### 展開の特色

- (1) 本計画は、家庭科の学習内容のうち、「生涯発達と青年期の課題」「子ども、高齢者、福祉」「経済生活」「生活設計」の内容を取り入れた総合的な実践であり、家庭科ならではの視点が特徴である。

### その他

- (1) 生活設計を考える際、夢を追うだけでなく、働くことの意義を理解し、社会とのつながりを意識させることが重要である。働き方の違いによる収入や保障の違いについても考えさせたい。
- (2) 社会保障制度について知り、そこから人の一生とライフサイクルについて考えさせることも効果的である。
- (3) 各学校の履修科目により、充当できる時間数に差があるが、基本的な流れは共通であり、工夫して取り組むことが可能である。

### 「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

\*記号については、P.32～45を参照。

Aーア・ウ・エ、Dーア

### 学習内容のキーワード

人生すごろく、生活資源、リスク対策、社会保障、保険、ライフコース、家計シミュレーション

## ●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どう生きていきたいかを考えて、「人生すごろく」を作ろう!</li> <li>①自分の今後の人生を考える。</li> <li>②人生におけるリスクについて理解する。</li> <li>③各ライフステージの特徴と、考えられるリスクとその対策を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>学習のねらいを知り、「人生すごろく」作りのルールを確認する。</b></li> <li>・これまでに学んだことを基に、生涯を見通して自分の生活設計について考えることを理解する。</li> <li>・高校卒業後から80歳になるまで、各年代のライフイベントを入れながらゲーム仕立てにすること、リスクとそのための対策を3つ以上入れることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の希望する生き方、将来起きそうなライフイベントを考え、それらのために必要な資源を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★準備のためのワークシートで、各年代のライフイベントや考えられるリスクをあらかじめ書き出させるとよい。</li> <li>★前年度の生徒の作品や市販されているゲームなどを掲示すると取り組みやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・前年度の生徒の作品など</li> </ul>
2 3 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人生すごろく」作り</li> <li>①すごろくという形で、これからの人生を表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>「人生すごろく」作り</b></li> <li>・条件を満たすよう留意しながら、工夫して楽しいすごろくを作る。</li> <li>・友人と相談してもよいが、あくまでもオリジナルの作品になるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各年代のリスクとその対策について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★高校生にとっては、考えたことのない内容なので、作業が進まない生徒も多い。適宜具体的なアドバイスをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同上</li> </ul>
5 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスメートの「人生すごろく」を鑑賞しよう!</li> <li>①いろいろな人生があることを理解する。</li> <li>②自分の考えたものとは異なる多様なリスクやその対策を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>友人の作品を見て回る。</b></li> <li>・気付いたことをコメント用紙や付箋紙に記入する。</li> <li>・いろいろな生き方があることや、様々なリスクとその対策があることを理解する。</li> <li>・まとめのワークシートに、気付いたことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆様々なリスクとその対策を知る。</li> <li>◆リスク対策としては、自助、共助、公助があることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★どのようなリスクが挙げられたか発表させ、クラス内で共有すると効果的である。また、必要に応じて教師が補足する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コメント用紙</li> <li>・付箋紙など</li> <li>・ワークシート</li> </ul>
6 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活資源と社会保障制度を知ろう!</li> <li>①様々なリスクに対応するためには、個人の努力だけでなく、社会的な生活保障資源が重要であることを知る。</li> <li>②保険について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>生活資源とは何か理解する。</b></li> <li>・生きていくうえで活用できるすべてのものが生活資源であることを理解する。</li> <li>・お金に関わることとそれ以外のこと、個人の努力によるものと、社会保障制度に分けて分類整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆保険には、私的なものと公的なもの(社会保険)があることに気付く。</li> <li>◆社会保険の仕組みを理解する。</li> <li>◆年金制度について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自分が努力することについては分かりやすいが、社会保障制度については十分に理解していないことが多いので、具体例を挙げて指導する。教科書の社会保障制度の表等を活用するとよい。</li> <li>★共生社会についても触れる。</li> <li>★子育て支援や高齢期の生活についても関連付けて指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・教科書の資料</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭経済と家計</li> <li>①家計とその特徴を理解する。</li> <li>②税金と社会保障費について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>家計について具体的に理解する。</b></li> <li>・特に非消費支出について、家計と社会の関わりを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆税金や社会保険料、社会保障費の使われ方に関心をもつことが重要であることに気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★時間の余裕があれば、生徒に資料を集めさせる。</li> <li>★ライフコース別シミュレーションをするときは、生徒が特定のコースに偏らないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市販のシール教材など</li> <li>・各種統計データ</li> <li>・インターネット</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフコース別家計シミュレーションをしてみよう!</li> <li>①働き方や家族構成、ライフスタイルの違いによる、必要な収入額の差を知る。</li> <li>②改めて、自分の希望する生き方考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>家計シミュレーションを行う。</b></li> <li>・市販されている教材や各種資料、インターネットなどを用いて、共働き、妻パート、独身一人暮らしなどのライフコース別に家計シミュレーションを行う。</li> <li>・生活するためにどのくらい収入が必要か、統計から読み取って具体的に理解する。</li> <li>・自分の希望する生き方と照らし合わせて再検討し、金銭資源の重要性を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆生きていくためにはどのくらい生活費が必要か理解する。また、ライフコースによって、必要な生活費には違いがあることに気付く。</li> <li>◆働くことの意義を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自分が作成した「人生すごろく」の内容を再度検討させる。</li> <li>★固定的な性別役割分業意識にとらわれていないか等についても、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が作成した「人生すごろく」</li> <li>・クラス全体のリスク一覧</li> </ul>

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

資料

222

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

資料

資料

223

## ●本時の展開

**本時の目標**  
 ア：クラスメートの作成したすごろくを見て、様々な人生、リスクがあることを知る。  
 イ：生活資源には、私的なものと公的なものがあることを理解する。

	学習内容	●学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他(資料等)
<b>導入</b>	・クラスメートの作った「人生すごろく」を見てみよう!	●本時の学習内容を確認する。 ・机の上に置かれた全員の「人生すごろく」を見て回り、コメント用紙等に気付いたことや感想を書く。	◆クラスメートの考える人生のリスクとその対策から、自分が気付かなかったリスクについて認識する。 ◆リスクにより失うものとその対策について関心をもつ。	★リスクとその対策に注目させながら、コメントを記入させる。教師も一緒にコメントしてもよい。 ★コメントが少ない場合は、作成者が周囲のクラスメートに聞いて回るようにする。	・「人生すごろく」 ・コメント用紙 ・付箋紙など
<b>展開①</b>	・クラスメートの作品は?感想は? ・リスクとその対策を書き出し、整理しよう!	●自席に戻り、コメント用紙に書かれていた内容を読む。代表者数名が読み上げる。 ●ワークシートに従って、自分のすごろくに取上げたリスクとその対策を書き出す。教材・資料等3 ●クラスメートの作品に取り上げられていたリスクとその対策をできるだけ多く書き出す。 ●リスクを発表し、クラスで共有する。 ●挙げられたリスク対策を分類する。教材・資料等4	◆様々な対策の中でも、金銭資源の重要性を認識する。金銭以外の大事なことも、金銭と密接に関わっていることに気付く。 ◆職業労働の意義を知る。 ◆貯蓄等の重要性と種類(預金、貯金、生命保険など)を知る。 ◆様々な保険について理解する。	★なるべく多くの種類の対策を拾い上げる。本人が気付いていないものがあれば、指摘する。 ★生活資源の考え方を理解させる。金銭以外に、時間、人間関係、資格など。 ★生徒が意識していなかった生活資源に気付かせる。	・ワークシート ・教科書中の資料 ・市販の教材、資料など
<b>展開②</b>	・生活資源と社会保障制度について、理解しよう! ①ライフステージ別に、制度ごとに読み取る。 ②私的保障と公的保障の違いをまとめる。	●生活資源とは何か理解する。 ●教科書の社会保障制度の表を見て、ライフステージ別、制度ごとにキーワードを挙げる。 ・出生から6歳まで～各種健診、保育所、児童手当など ・6歳から18歳まで～予防接種、学童保育、児童手当など ・40歳から～特定健診、介護保険、雇用保険、生活保護など ・65歳から～老齢年金、介護保険、生活保護など ●上記を展開①の分類表に書き加え、補足する。 ●私的な保険と社会保険の違いをまとめ、公的保障としての社会保険の意味を理解する。 ●生活資源の考え方を理解し、自分らしい生き方のためには生活資源の管理が重要であることを理解する。	◆人の一生と社会保障制度の関係を理解する。 ◆社会保険の仕組みについて理解する。 ◆子育て支援制度や公的年金について、人の一生と結び付けて考える。	★生徒が取り上げた資源には、社会保障制度が少ないことが多いため、教科書の表等を見ていないに読ませると効果的である。 ★子育て支援制度や、高齢期の生活を支える年金などについて、既習内容と結び付ける。	・ワークシート ・教科書中の社会保障制度の表
<b>展開③</b>	・希望するライフコースにはどのようなリスクがあるだろうか?	●再度、「人生すごろく」で自分が選んだライフコースについて、そのコースに特徴的なリスクを考える。	◆ライフコース別(共働き、生涯独身など)のリスクとその特徴を考える。	★次時のライフコース別家計シミュレーションにつなげる。	・「人生すごろく」 ・ワークシート
<b>まとめ</b>	・「人生すごろく」から見えてきたことは何だろうか?	●自分の人生を考えるとき、必要なことは何か理解する。 ①何をしたいか。 ②どのようなリスクがあるか。 ③リスクに対してどのような備えをするか(私的保険、社会保障制度など)。	◆生活設計の重要性を理解する。 ◆青年期の課題について自分のこれからの人生と結び付けて認識する。	★高校卒業後の人生をイメージさせるとともに、青年期の課題を考えさせる。	・ワークシート

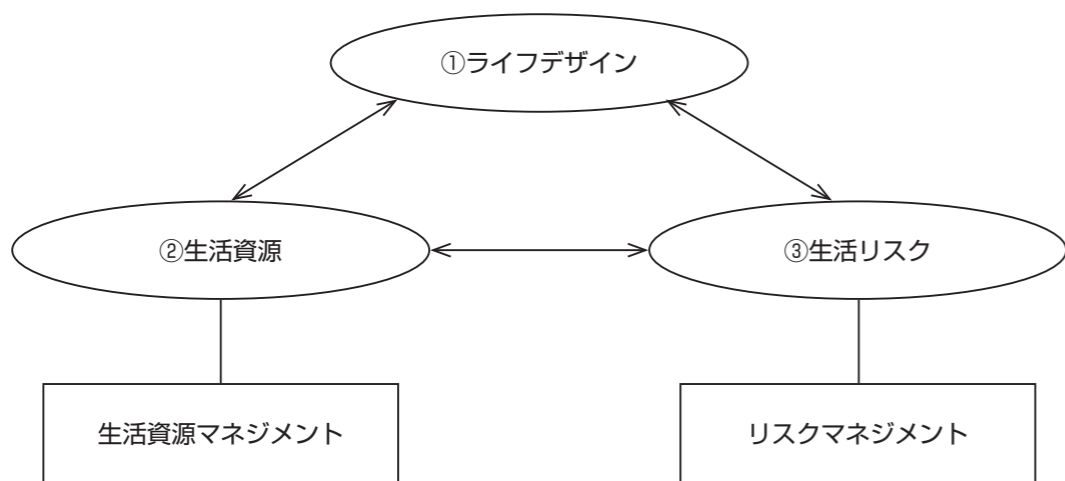
1 金融教育のねらいと基本的性格  
 2 金融教育の目標と方法  
 3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
 4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
 5 小学校における金融教育  
 6 中学校における金融教育  
 7 高等学校における金融教育

1 金融教育のねらいと基本的性格  
 2 金融教育の目標と方法  
 3 金融教育を支援する関係機関等の活動  
 4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて  
 5 小学校における金融教育  
 6 中学校における金融教育  
 7 高等学校における金融教育



●教材・資料等 (授業で用いる教材や資料、ワークシート等)

1. 生活設計の概念図 (略図)



藤田 (2001) より作成

2. 「人生すごろく」作成のためのワークシート (略図)

1 人の一生の中で、転機となり大きな意味を持つようなイベントを、ぜひ起こって欲しい「よいこと」と、できれば避けたい「よくないこと」に分けて、できるだけたくさん挙げてみよう。  
※「よくないことが起きる可能性」を「リスク」と呼びます。

よいこと	よくないこと

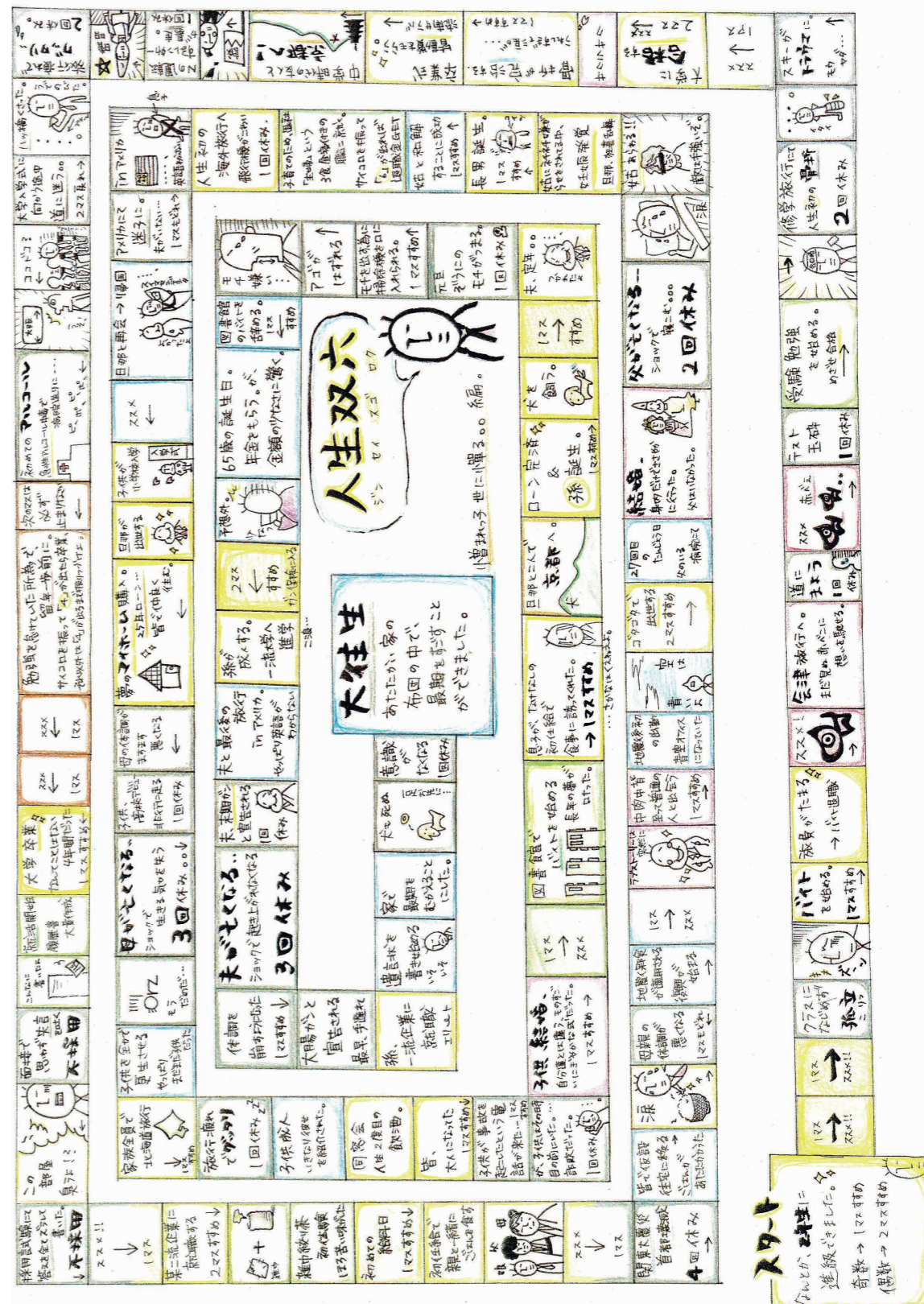
2 リスクについて、対策を考えてみよう。

リスク	対策
例) 病気になる	保険に入る 食事に気を付ける

3 次の条件を踏まえて、「人生すごろく」を作ろう。

- ① スタートは高校卒業とする。
- ② ゴールは自由だが、必ず高齢 (80 歳以上) になるまでとする。
- ③ すごろくの中に、3つ以上のリスクとその対策を必ず登場させる。

3. 「人生すごろく」生徒作品例



1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目的と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目的と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

## 4. まとめのワークシート (略図)

## リスクと生活設計

- 1 あなたがすぐろく中に取り上げたリスクとその対策を書き出してみよう。
- 2 リスクの対策を右の表に分類してみよう。
- 3 あなたの作成したすぐろくのストーリーに近いものを選びましょう。  
そのストーリーを選んだ理由は？
- 4 それぞれのリスクにはどのようなことが考えられますか？
- 5 すぐろくを作って、どのようなことを考えましたか？

	個人でできること	社会保障制度
お金に関すること		
お金以外のこと		

## 5. 参考文献

藤田由紀子、「リスクと生活設計」、御船美智子・上村協子編『現代社会の生活経営』、光生館、49～61頁  
 仲田郁子・久保桂子、「高校生の生活設計への積極的態度に影響を及ぼす要因と指導法の検討」、『日本家庭科教育学会誌』55(1)、平成24年、25～33頁